

平成 19 年 8 月 21 日

### 協力企業作業員の負傷について

平成 19 年 8 月 20 日、集中環境施設プロセス建屋\* 1 階において、作業用変圧器の移動作業を行った協力企業作業員が、事務所へ戻った後、臀部の痛みを訴えたため、午後 2 時 50 分頃、業務車にて病院へ搬送いたしました。

診察の結果、「仙骨部挫傷」と診断されました。

確認した結果、当該作業員は共同作業員 5 名とともに、変圧器を載せた台車の移動作業中、傾斜のある床面を乗り越えた際に、台車に取り付けられていた持ち手のパイプを強く引いたところ、このパイプが台車の差し込み部から抜けたため、その反動で後方の機器の角に臀部をぶつけたことがわかりました。

対策として、台車とパイプの接続部分に外れ止めのピン等を取り付けることといたします。

また、本事例については所内および協力企業に周知し、注意喚起いたします。

なお、当該作業員に放射性物質による汚染はありません。

以 上

\* 集中環境施設プロセス建屋

発電所から発生する液体廃棄物や洗濯廃液を一括集中処理する建屋のこと。